

総合周産期母子医療センター開設記念式典を挙行了しました。

本院では、この度開設した総合周産期母子医療センターの開設記念式典及び学内外関係者に対する施設見学会を4月14日（水）に開催しました。

式典では、下條学長及び内山病院長による挨拶があった後、文部科学省高等教育局医学教育課の玉上大学病院支援室長から祝辞があり、続いて、高桑センター部長から、同センターの施設概要等に関する説明がありました。

今回開設した総合周産期母子医療センターは、周産母子センターのあった西病棟5階の一部を改修し、新生児集中治療室（NICU）9床、新生児後方病室（GCU）12床及び母体・胎児集中治療管理室（MFICU）6床を整備したもので、新潟県の周産期医療体制整備計画に基づき、「総合周産期母子医療センター」として認可された県内3番目の施設となります。

今後、同センターには、各医療機関との連携を強化し、地域の周産期医療体制の更なる充実を図ることなど、新潟県における周産期医療機関の中核としての役割が期待されています。



祝辞を述べる玉上大学病院支援室長



MFICUで高桑センター部長（左）から説明を受ける玉上室長（右手前）と下條学長（右奥）



NICUでの施設見学会の様子